

# 児童「プロの仕事」体験

福井・社西小 やりがいなど学ぶ



車のドアの傷を直す作業に興味津々の児童たち＝福井市社西小学校で

平家、劔神社神職の津田親真

# 信長の始祖 文献あった

地域の大人たちがどんな仕事をしているのかを学ぶ職業体験講座が一日、福井市下江守町の社西小学校であった。

市PTA連合会の地元ブロックが主催。社地区の車販売修理店や企画運営会社、保険代理店など六社が、六年

生五十八人に仕事の内容ややりがいなどを紹介した。

車販売修理店の講座

では、店員が工具を使って乗用車のドアの傷や汚れを直す作業を見学。あつという間にきれいになると、児童は「うるうるになってる」と歓声を上げた。

傷を付けたアクリル板を手作業で磨く体験もあった。大谷新奈さん(こ)は「磨くのが楽

しかった。車は世の中の必需品なので、きちんと直さなきゃいけないと思えました」と話した。

講座は、独自の職業教育事業「アントレ・キッズ」を行っている福井商工会議所青年部が共催した。(林朋実)

## 子どもの絵画個性豊か

福井 教室の生徒が作品展

北陸二県で展開する

絵画教室「オータニアートスクール」(富山県、大谷弓子園長)の園児から中学生までの生徒たちによる絵画展が一日、福井市城東一丁目の県立こども歴史文化館で始まった。九日まで。

テーマは「絵で見る世界の子ども、日本の子ども」。会場には、オータニアートスクール福井の生徒たちによる、福井の四季を四枚の画用紙に表現した共同制作や、世界三十四カ国の児童たちが、ス

や各地の風景などを自由に描いた約七十点などが展示されている。

水彩絵の具やクレヨン



子どもたちの共同制作など、数々の力作を見学する来場者たち＝福井市の県立こども歴史文化館で

ポーツをしている様子

ンなど、さまざまな画材を使った個性豊かな力作が並び、来場客を楽しませていた。

講師に招き、子どもたちが巨大な恐竜の絵の共同制作に挑戦する絵画教室「きょうりゅう」とあそぼうーも開かれた。(北藤真実)

## 越前信金の2人 福井署が感謝状 女性の詐欺被害防ぐ

詐欺被害を防いだとして、福井署は十一月

二十九日、越前信用金庫二の宮支店(福井市二の宮)支店長代理の沢本武文さん(三〇)と窓口係の内山晴美さん(四〇)に感謝状を贈った。

架空の会社から電話で社債取引などを持ち掛けられた、福井市内の六十代女性が十一月七日、定期預金数百万円を解約しようとして来店。女性の態度を不審に思った内山さんが沢本さんに相談。別室で女性から事情を聞き、解約を思いとまらせた。

贈呈式では道場英男署長が「二人の機転のおかげで防げました」と感謝状を手渡した。沢本さんは「落ち着いて対応できたのは、詐欺被害防止の研修の成果」と話していた。

(吉野淳一) レイアウト・田中 洋和



道場英男署長(左)から感謝状を受け取る沢本武文さん(右)と内山晴美さん＝福井署で